学会の会員にとっても重要な事ですので，会員の皆さんのご協力をお願いします．なお，自然史学会連合については45巻2号で詳しく紹介します．

（松浦啓一　Keiichi Matsuura：〒169–0073 東京都新宿区百人町3–23–1　国立科学博物館動物研究部 e-mail: matsuura@kahaku.go.jp）

魚類学雑誌
45(1): 56

「小笠原の魚類」購入ご案内

本誌44巻1号でご紹介したRandall et al.の小笠原の魚類に関する論文に残部があります．この論文は国立科学博物館のMonographs No. 11に掲載されています．小笠原諸島の沿岸性魚類97科801種が収録され，117枚のカラー写真が示されています．購入ご希望の会員は2310円（送料・税込み）を郵便振替で下記までお送り下さい．

送金先：00150–8–22146　財団法人科学博物館後援会．
問い合わせ先：〒110–8718　東京都台東区上野公園7–20　財団法人科学博物館後援会
電話：03–5814–9108；ファクス：03–5814–6757

Randall, J. E., H. Ida, K. Kato, R. L. Pyle and J. L. Earle. 1997. Annotated checklist of the inshore fishes of the Ogasawara Islands. National Science Museum Monographs, No. 11, 74 pp., 19 pls.

（松浦啓一　Keiichi Matsuura: 〒169–0073 東京都新宿区百人町3–23–1　国立科学博物館動物研究部　e-mail: matsuura@kahaku.go.jp）

会記・Proceedings

魚類学雑誌
45(1): 56–57

オークション開催のお知らせ

1998年度年会の懇親会において書籍類のオークションが行われます．売上金は今後の年会に参加する学生への旅費の一部として援助される予定です．つきましては不要になった書籍類のご寄付をここで募るとともに，ひとりでも多くの方の懇親会へのご参加をお願いいたします．

オークションに関するお問い合わせは庶務幹事（瀬能：TEL 0465–21–1515, FAX 0465–23–8846; 須之部：TEL 043–265–3111, FAX 043–266–2481）まで，書籍のご寄付につきましては今回会場となる高知大学の佐々木邦夫氏 (TEL 0888–44–8316, FAX 0888–44–8356)までご連絡下さい．

電子出版サービスのご案内

学会では（株）国際文献印刷社の協力を得て電子出版サービス（Infoket電子出版サービス）の実験を行っています．学会誌に掲載されている論文（一部）をネットを通じて購入することができます．本サービスは（株）国際文献印刷社のホームページ〈http://www.iijnet.or.jp/BUNKEN〉や学会ホームページ〈http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/isj/index.html〉のお知らせの項目からアクセスすることで会員，非会員を問わずどなたでも利用できます．ただし，現在のところ以下の制約がありますのであらかじめご了承下さい．

1) 利用可能なパソコンはPC (Windows 95またはNT 3.51)，ブラウザはNetscape Navigator（Ver. 2.0以降）またはMicrosoft Internet Explorer（Ver. 3.0以降）のみ．
2) サービスを受けられるのは日本国内のみ．

1997年第6回役員会

1997年9月30日（月），於　横須賀市自然博物館1階講堂．出席者：沖山，林，瀬能，篠原，松浦，河野，上野．

1. 前回議事録の確認．
2. 報告事項　編集：現在までの投稿論文数は英文誌67篇，和文誌11篇で合計78篇．Ichthyol. Res., 44 (4)，魚雑44 (2)は11月下旬に出版予定．会計：評議員会・総会で承認を得る書類の修正案を作成した．庶務：評議員会・総会の資料の草案を作成した．
3. 1997年度年会の準備について：発表会場，懇親会会場およびその他の施設を確認した．年会参加申し込みは最終的に参加者225人で発表数122件．要旨集については400部準備した．アルバイト人員の配置と懇親会の準備状況（オークションのための寄付の集まり具合など）について説明があった．
4. その他：インターネットパブリッシング実験の経過報告（庶務から）．

1997年第7回役員会

1997年12月12日（金），於　国立科学博物館分館2階会議室．出席者：尼岡，林，瀬能，篠原，松浦，宮，河野，新井．

1. 前回議事録の確認．
2. 報告事項　編集：今年に入ってからの投稿論文数は英文誌では79篇，和文誌では14篇で合計94篇に達した．Ichthyol. Res., 44 (4)と魚雑44 (2)を11月下旬に予定どおりに出版した．Ichthyol. Res., 45 (1)は本論文12篇と短報3篇の合計15篇で出版予定．Ichthyol. Res., 45 (2)は本論文7篇と短報2篇，魚雑45 (1)は短報5篇がすでに掲載可能．
3. 1997年度年会の反省：研究発表会とシンポジウムへの参加者数および年会収支決算が林　公義氏から報告された．研究発表数の増加にともなう時間的な問題について話し合い，口頭発表数の上限を決め，それ以外はポスターセッションにまわってもらう等の提案がなされ，ひきつづき検討することにした．
4. その他：1) 名誉会員の基準について話し合い，明確化することに決めた．2) 自然史学会連合への寄付（2万円）の継続について確認した．

国際会議のお知らせ

1999年7月にオーストラリアのシドニーにおいて第19回太平洋国際会議が開催される予定になっていますので，以下にご案内します．

Call for Papers

A symposium on "Biodiversity of Pacific Ocean Fishes" is being organized for the XIX Pacific Science Congress in Sydney, Australia. The Congress will be held between 4–9 July, 1999. The symposium will present a wide range of papers on topics related to the biodiversity of Pacific fishes. Subjects will include taxonomy and systematics, zoogeography, historical ecology, behavior, ecology, genetics, conservation biology, the role of museums, and methods of ecological assessment. Papers will address coral and rocky reef fishes, deep-reef fishes, mangrove and seagrass fishes, insular freshwater fishes, larval fishes, deep-sea fishes, pelagic fishes, etc. Contributed papers or poster presentations on tropical, temperate and polar fish biodiversity will be welcomed.

For more information about the symposium, contact: Dr. T. J. Donaldson, Department of Fisheries, Faculty of Agriculture, Kyushu University, 6–10–1 Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka 812–81 JAPAN (e-mail: tdonaldson@po.synapse.or.jp).

For more information about the Pacific Science Congress contact the Congress Secretariat at: GPO Box 2609, Sydney, NSW, 20001 Australia (e-mail: pacsci@icmsaust.com.au).